

県内企業景況調査結果

[2026 年 7～9 月期実績、2026 年 10～12 月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

— 県内景況は、一部で台風の影響が一時的にみられるものの、
先行きは拡大する見通し —

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績 (7～9 月期): 「好転」超から「悪化」超へ転じ、18 期ぶりのマイナス

[前期 4.6%ポイント (以下、単位省略) ⇒ 当期△2.7]

・観光需要が堅調に推移しているものの、一部業種で、台風の影響が一時的にみられる

見通し (10～12 月期): 来期は「悪化」超から「好転」超に転じる見通し (来期 5.6)

・引き続き人手不足、原材料高、諸経費増の影響はあるも、来期は「好転」超に転じる見通しであり、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる

2. 景況天気

実績 : 17 期連続の「☀️ (晴れ)」(前期 15.7 ⇒ 当期 13.5)

運輸業で「☀️ (晴れ)」→「☁️ (曇り)」

製造業で「☁️ (薄曇り)」→「☀️ (晴れ)」

情報通信業で「☁️ (曇り)」→「☁️ (薄曇り)」

飲食店・宿泊業で引き続き「☀️ 快晴」

建設業、卸売業、小売業、サービス業で引き続き「☀️ (晴れ)」

見通し: 引き続き「☀️ (晴れ)」となる見通し (来期 14.6)

飲食店・宿泊業で「☀️ (快晴)」→「☀️ (晴れ)」

卸売業で「☀️ (晴れ)」→「☁️ (薄曇り)」

運輸業で「☁️ (曇り)」→「☁️ (薄曇り)」

製造業、建設業、小売業、サービス業で引き続き「☀️ (晴れ)」

情報通信業で引き続き「☁️ (薄曇り)」

3. 売上 D.I.

実績 : 「増加」超幅が大幅に縮小 (同 18.0 ⇒ 同 5.6)

見通し: 「増加」超幅が拡大 (同 12.0)

4. 採算水準 D.I.

実績 : 「黒字」超幅が拡大 (同 28.9 ⇒ 同 34.9)

見通し: 「黒字」超幅がほぼ横這い (同 36.2)

5. 資金繰り D.I.

実績 : 「楽」超から「保合い」となる (同 0.3 ⇒ 同 0.0)

見通し: 「保合い」から「苦しい」超となる (同△4.3)

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課 (担当: 奥間)

沖縄県那覇市おもろまち 1-2-26

電話: 098-941-1725

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金 1 千万円以上かつ従業員数 20 名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)	回答率 (前回)
		(A)	(B)	$(B)/(A) \times 100$	$(B)/(A) \times 100$
全 産 業 (※1)		363	301	82.9	84.0
	製 造 業	68	60	88.2	80.9
	建 設 業	67	60	89.6	88.1
	卸 売 業	47	39	83.0	91.5
	小 売 業	46	38	82.6	78.3
	運 輸 業	32	27	84.4	84.4
	情報通信業 (※2)	23	18	78.3	91.3
	サービス業	44	31	70.5	81.8
	飲食店・宿泊業	33	26	78.8	75.8

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入、または WEB 調査システムからの回答を求める方法。さらに、一部企業にヒアリングを実施。

5. 調査対象期間

当期 … 2026 年 7～9 月期実績 来期 … 2026 年 10～12 月期見通し

6. 調査実施期間

2026 年 8 月上旬～2026 年 9 月上旬
(発送：2026 年 8 月 10 日、回収基準日：2026 年 9 月 1 日)

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの 3 つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰り D. I. を平均し、その値を 5 段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果

1. 業況判断

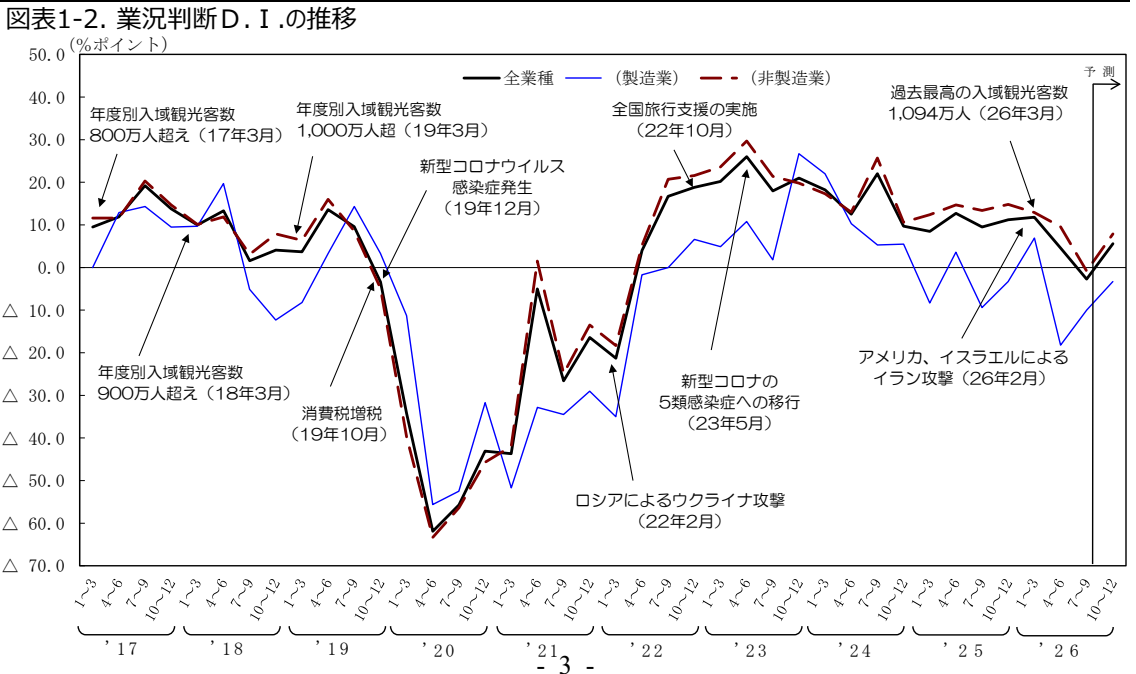
— 当期は「好転」超から「悪化」超へ転じ、18 期ぶりのマイナス
来期は「悪化」超から「好転」超に転じる見通し —

- (1) [2026 年 7～9 月期実績]
- 自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は△2.7%ポイント（以下、単位省略）と、「好転」超から「悪化」超へ転じた。
- 業種別にみると、製造業で「悪化」超幅が縮小、卸売業で「悪化」超幅がやや縮小、建設業で「好転」超幅がほぼ横這いとなったものの、運輸業で「好転」超から「悪化」超へ転じ、小売業で「好転」超から「保合い」となり、サービス業で「好転」超幅が縮小、飲食店・宿泊業で「好転」超幅がやや縮小、情報通信業で「悪化」超幅がほぼ横這いとなった。
- (2) [2026 年 10～12 月期見通し]
- 来期の業況判断D. I. は5.6 と、「悪化」超から「好転」超に転じる見通しとなっている。
- 業種別にみると、情報通信業で「悪化」超幅が横這いとなるものの、卸売業、運輸業で「悪化」超から「好転」超に転じ、小売業で「保合い」から「好転」超となり、サービス業で「好転」超幅が拡大、飲食店・宿泊業で「好転」超幅がやや拡大、製造業で「悪化」超幅が縮小、建設業で「好転」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表1-1. 業況判断D.I.

参考:業況判断D. I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合) (単位 : %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期 前回見通し 今回実績	10～12月期 今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	12.7	9.5	11.2	11.8	4.6	(2.6)	△ 2.7
	① 好転(%)	27.7	24.8	26.6	27.5	22.6	(20.0)	19.9
	不変(%)	57.3	59.8	57.9	56.9	59.3	(62.6)	57.5
	② 悪化(%)	15.0	15.4	15.5	15.7	18.0	(17.4)	22.6
製 造 業		3.6	△ 9.4	△ 3.3	6.9	△ 18.2	(△9.1)	△ 10.0
建 設 業		11.3	9.7	8.5	8.5	8.5	(△1.7)	10.0
卸 売 業		0.0	2.5	5.6	2.4	△ 4.7	(△14.0)	△ 2.6
小 売 業		10.3	10.3	7.3	12.5	8.3	(11.1)	0.0
運 輸 業		25.8	34.5	28.6	21.4	29.6	(18.5)	△ 44.4
情報通信業		5.3	0.0	0.0	15.8	△ 9.5	(△14.3)	△ 11.1
サービス業		18.4	10.8	13.9	14.7	11.1	(13.9)	3.2
飲食店・宿泊業		38.5	34.8	50.0	29.2	24.0	(36.0)	19.2



2. 景況天気

— 当期は17期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

(1) [2026年7～9月期実績]

当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、資金繰りD. I. (0.3→0.0)で「楽」超から「保合い」となり、売上D. I. (18.0→5.6)で「増加」超幅が大幅に縮小したものの、採算水準D. I. (28.9→34.9)で「黒字」超幅が拡大となったことから、景況天気 (15.7→13.5)は「晴れ」となった。

業種別にみると、運輸業で「晴れ」から「曇り」となったものの、製造業で「薄曇り」から「晴れ」、情報通信業で「曇り」から「薄曇り」、飲食店・宿泊業で引き続き「快晴」、建設業、卸売業、小売業、サービス業で引き続き「晴れ」となった。

(2) [2026年10～12月期見通し]

来期の見通しは、資金繰りD. I. (△4.3)で「保合い」から「苦しい」超となるものの、売上D. I. (12.0)で「増加」超幅が拡大、採算水準D. I. (36.2)で「黒字」超幅がほぼ横這いとなることから、景況天気 (14.6)は「晴れ」の見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「快晴」から「晴れ」、卸売業で「晴れ」から「薄曇り」となるものの、運輸業で「曇り」から「薄曇り」、製造業、建設業、小売業、サービス業で引き続き「晴れ」、情報通信業で引き続き「薄曇り」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

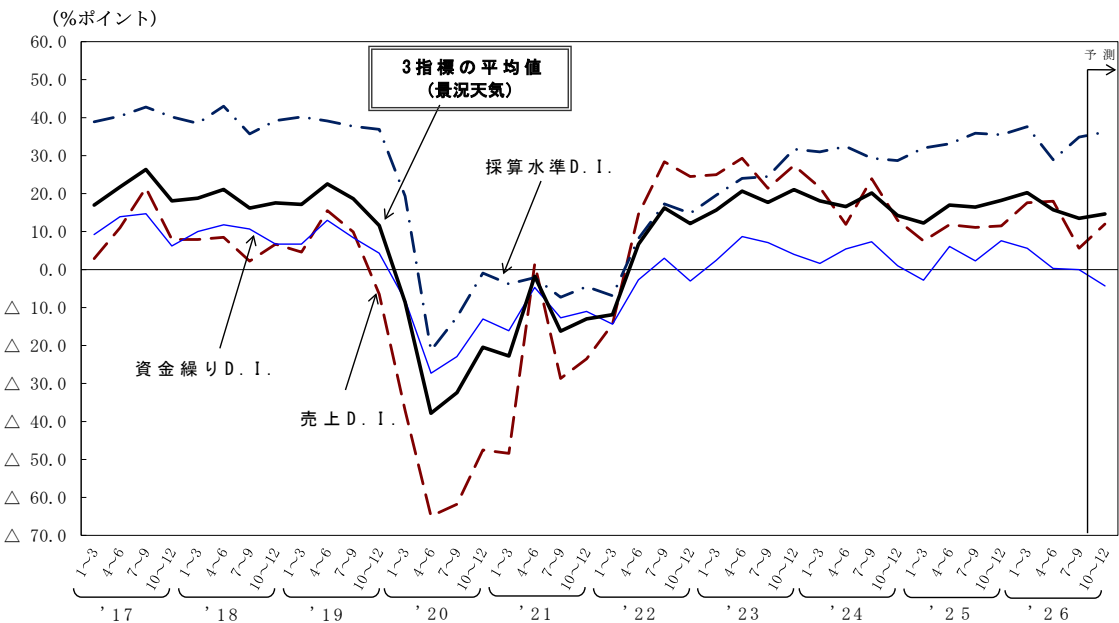
参考: 景況天気 (売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	7～9月期		
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全産業		☀ 17.0	☀ 16.4	☀ 18.2	☀ 20.3	☀ 15.7	☀ (15.3)	☀ 13.5
製造業		☁ 9.5	☁ △ 2.5	☀ 10.6	☀ 13.8	☁ 8.5	☀ (15.8)	☀ 13.3
建設業		☀ 12.9	☁ 9.7	☁ 5.6	☀ 14.1	☀ 14.7	☁ (9.0)	☀ 16.1
卸売業		☀ 18.3	☀ 17.5	☀ 19.4	☀ 17.5	☀ 18.6	☀ (10.9)	☀ 17.9
小売業		☀ 25.6	☀ 30.8	☀ 31.7	☀ 27.5	☀ 19.4	☀ (28.7)	☀ 16.7
運輸業		☀ 32.3	☀ 25.3	☀ 26.2	☀ 34.5	☀ 21.0	☀ (14.8)	☁ △ 18.5
情報通信業		☁ △ 8.8	☁ △ 1.7	☁ △ 1.9	☀ 10.5	☁ △ 9.5	☁ (△ 9.5)	☁ △ 1.9
サービス業		☀ 16.7	☀ 25.2	☀ 18.5	☀ 23.5	☀ 20.4	☀ (20.4)	☀ 19.4
飲食店・宿泊業		☀ 28.2	☀ 43.5	☀ 47.2	☀ 29.2	☀ 30.7	☀ (32.0)	☀ 30.8

☀ 快晴 — 30以上～100以下 ☁ 曇り — △ 30以上～△ 5未満 ☀ 晴 — 10以上～30未満 ☁ 薄曇り — △ 5以上～10未満
☔ 雨 — △ 100以上～△ 30未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. の推移 (全業種)



3. 売上

— 当期は「増加」超幅が大幅に縮小、来期は「増加」超幅が拡大する見通し —

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の売上D. I. は 5.6 と、「増加」超幅が大幅に縮小した。
業種別にみると、情報通信業で「増加」超幅が拡大、建設業で「増加」超幅がほぼ横
這いとなったものの、運輸業で「増加」超から「減少」超へ転じ、製造業で「増加」超
から「保合い」となり、小売業、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に縮小、卸売業、
サービス業で「増加」超幅が縮小した。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

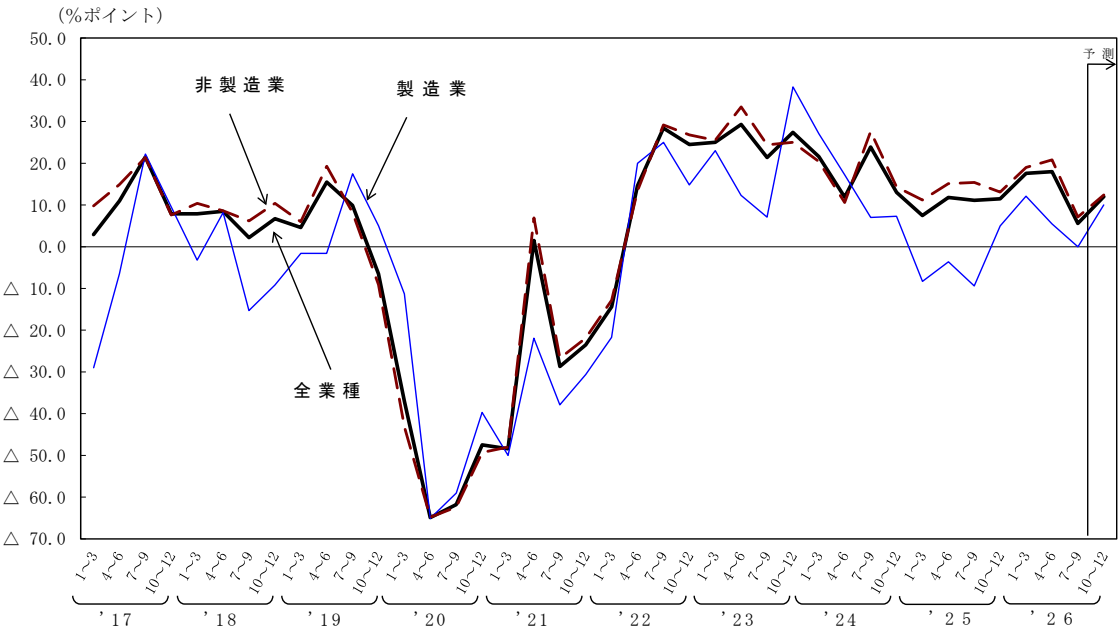
来期の売上D. I. は 12.0 と、「増加」超幅が拡大する見通しとなっている。
業種別にみると、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に縮小、建設業で「増加」超
幅がやや縮小するものの、製造業で「保合い」から「増加」超となり、小売業で「増加」
超幅が大幅に拡大、情報通信業、サービス業で「増加」超幅が拡大、卸売業で「増加」
超幅がやや拡大、運輸業で「減少」超から「保合い」となる見通しとなっている。

図表3-1. 売上D.I.

参考: 売上D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合) (単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①—②)		11.8	11.1	11.5	17.6	18.0	(14.8)	5.6	12.0
	① 増加(%)	38.9	36.9	36.8	40.5	41.3	(33.8)	35.9	32.2
	不変(%)	34.1	37.3	37.8	36.6	35.4	(47.2)	33.9	47.5
	② 減少(%)	27.1	25.8	25.3	22.9	23.3	(19.0)	30.2	20.3
製 造 業		△ 3.6	△ 9.4	5.0	12.1	5.5	(14.5)	0.0	10.0
建 設 業		3.2	0.0	△ 6.8	△ 3.4	6.8	(0.0)	8.3	5.0
卸 売 業		△ 12.5	△ 10.0	△ 13.9	2.4	11.6	(△4.7)	5.1	7.7
小 売 業		30.8	28.2	26.8	35.0	30.6	(41.7)	7.9	23.7
運 輸 業		35.5	37.9	17.9	35.7	29.6	(18.5)	△ 33.3	0.0
情報通信業		0.0	20.0	11.1	21.1	4.8	(△4.8)	11.1	16.7
サービス業		13.2	18.9	22.2	29.4	22.2	(27.8)	16.1	22.6
飲食店・宿泊業		50.0	43.5	58.3	37.5	56.0	(36.0)	30.8	15.4

図表3-2. 売上D. I. の推移



4. 採算水準

― 当期は「黒字」超幅が拡大、来期は「黒字」超幅がほぼ横這いの見通し ―

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の採算水準D. I. は 34.9 と、「黒字」超幅が拡大した。
業種別にみると、運輸業で「黒字」超から「赤字」超へ転じたものの、製造業、小売業、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が大幅に拡大、卸売業、サービス業で「黒字」超幅がやや拡大、情報通信業で「赤字」超幅が大幅に縮小、建設業で「黒字」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

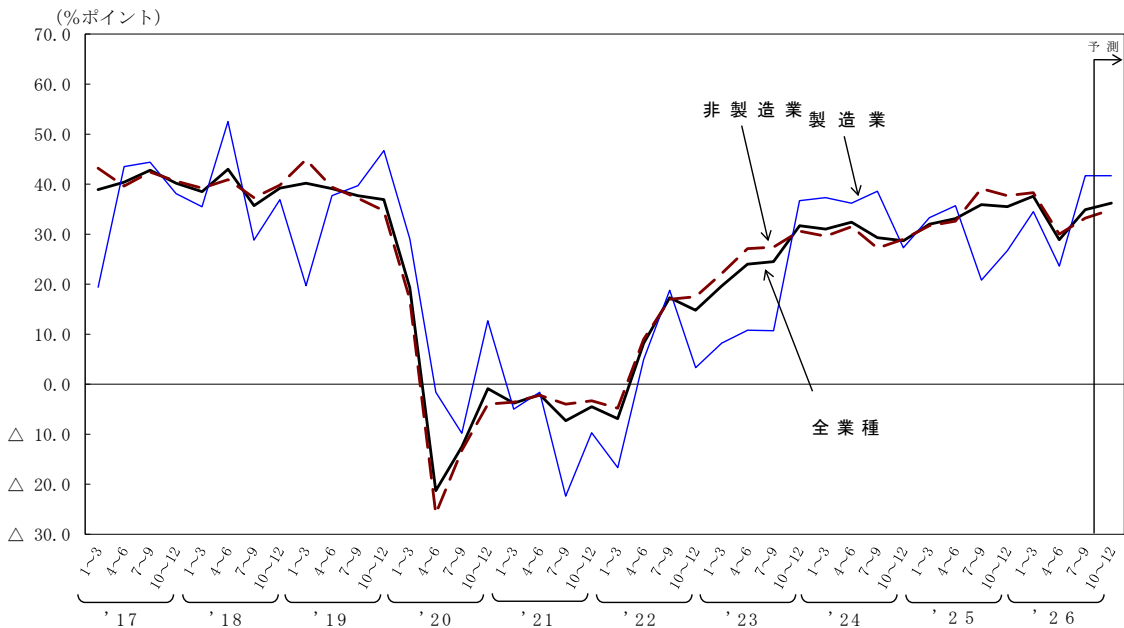
来期の採算水準D. I. は 36.2 と、「黒字」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。
業種別にみると、卸売業、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が大幅に縮小するものの、運輸業で「赤字」超から「黒字」超に転じ、小売業で「黒字」超幅が大幅に拡大、サービス業で「黒字」超幅が拡大、情報通信業で「赤字」超から「保合い」となり、製造業、建設業で「黒字」超幅が横這いの見通しとなっている。

図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D. I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合) (単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業 D. I. (①—②)		33.1	35.9	35.5	37.6	28.9	(33.1)	34.9
	① 黒字(%)	47.5	50.0	48.0	50.3	43.9	(44.9)	50.2
	トントン(%)	38.2	35.9	39.5	36.9	41.0	(43.3)	34.6
	② 赤字(%)	14.3	14.1	12.5	12.7	15.1	(11.8)	15.3
製造業		35.7	20.8	26.7	34.5	23.6	(41.8)	41.7
建設業		24.2	25.8	22.0	39.0	33.9	(28.8)	35.0
卸売業		60.0	62.5	63.9	52.4	46.5	(39.5)	48.7
小売業		38.5	56.4	51.2	40.0	33.3	(41.7)	47.4
運輸業		41.9	31.0	42.9	50.0	25.9	(18.5)	△ 11.1
情報通信業		△ 15.8	△ 20.0	△ 11.1	0.0	△ 23.8	(△ 14.3)	△ 5.6
サービス業		34.2	45.9	30.6	35.3	33.3	(36.1)	35.5
飲食店・宿泊業		23.1	56.5	54.2	29.2	32.0	(56.0)	53.8

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5. 資金繰り

— 当期は「楽」超から「保合い」となり、
来期は「保合い」から「苦しい」超となる見通し —

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の資金繰り D. I. は 0.0 と、「楽」超から「保合い」となった。
業種別にみると、飲食店・宿泊業で「楽」超幅がやや拡大し、卸売業で「苦しい」超から「保合い」となり、建設業、サービス業で「楽」超幅がほぼ横這いとなったものの、運輸業で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、製造業、小売業、情報通信業で「苦しい」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

来期の資金繰り D. I. は $\Delta 4.3$ と、「保合い」から「苦しい」超となる見通しとなっている。
業種別にみると、小売業、運輸業で「苦しい」超幅がやや縮小、サービス業で「楽」超幅が横這いとなるものの、飲食店・宿泊業で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、卸売業で「保合い」から「苦しい」超となり、情報通信業で「苦しい」超幅が拡大し、建設業で「楽」超から「保合い」となり、製造業で「苦しい」超幅が横這いの見通しとなっている。

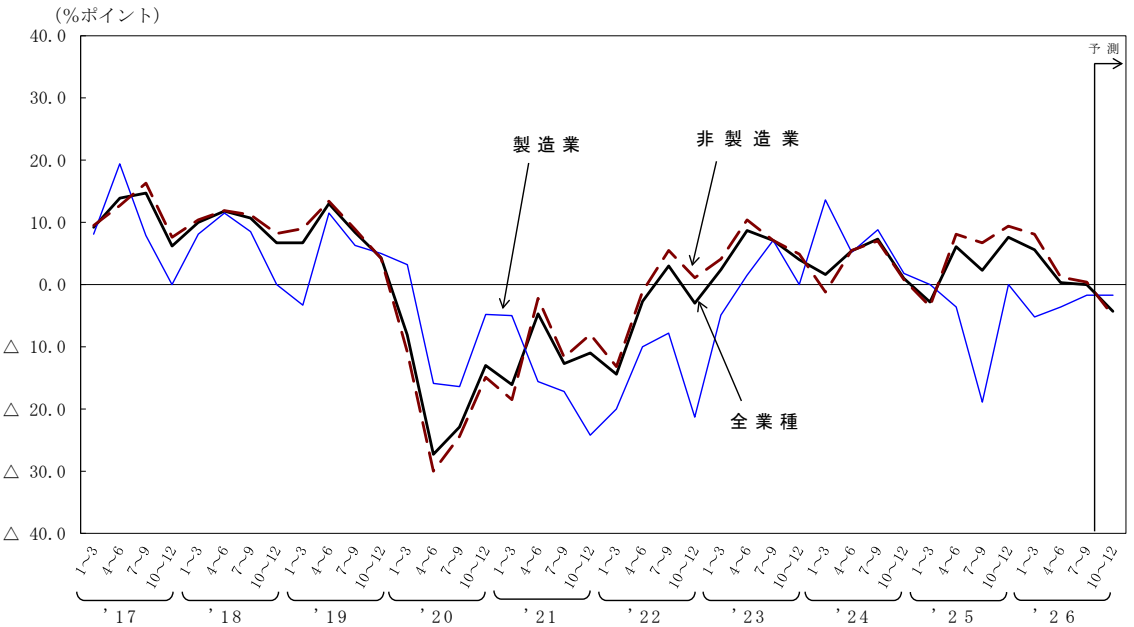
図表5-1. 資金繰り D.I.

参考:資金繰りD. I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
産業 D. I (①—②)		6.1	2.3	7.6	5.6	0.3	(△2.0)	0.0	△ 4.3
	① 楽 (%)	14.3	10.5	14.8	11.8	9.5	(8.5)	10.3	8.3
	不 変 (%)	77.4	81.4	78.0	82.0	81.3	(81.0)	79.4	79.1
	② 苦しい(%)	8.3	8.2	7.2	6.2	9.2	(10.5)	10.3	12.6
製 造 業		△ 3.6	△ 18.9	0.0	△ 5.2	△ 3.6	(△9.1)	△ 1.7	△ 1.7
建 設 業		11.3	3.2	1.7	6.8	3.4	(△1.7)	5.0	0.0
卸 売 業		7.5	0.0	8.3	△ 2.4	△ 2.3	(△2.3)	0.0	△ 12.8
小 売 業		7.7	7.7	17.1	7.5	△ 5.6	(2.8)	△ 5.3	△ 2.6
運 輸 業		19.4	6.9	17.9	17.9	7.4	(7.4)	△ 11.1	△ 7.4
情報通信業		△ 10.5	△ 5.0	△ 5.6	10.5	△ 9.5	(△9.5)	△ 11.1	△ 16.7
サービス業		2.6	10.8	2.8	5.9	5.6	(△2.8)	6.5	6.5
飲食店・宿泊業		11.5	30.4	29.2	20.8	4.0	(4.0)	7.7	△ 11.5

図表5-2. 資金繰り D. I. の推移



6. 借入難易

― 当期は「容易」超幅がほぼ横這いとなり、
来期も「容易」超幅がほぼ横這いの見通し ―

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は2.7 と、「容易」超幅がほぼ横這いとなった。
業種別にみると、製造業で「保合い」から「困難」超となり、卸売業、運輸業で「容易」超幅がやや縮小したものの、建設業、サービス業で「保合い」から「容易」超となり、小売業で「容易」超幅がほぼ横這い、情報通信業、飲食店・宿泊業で引き続き「保合い」となった。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

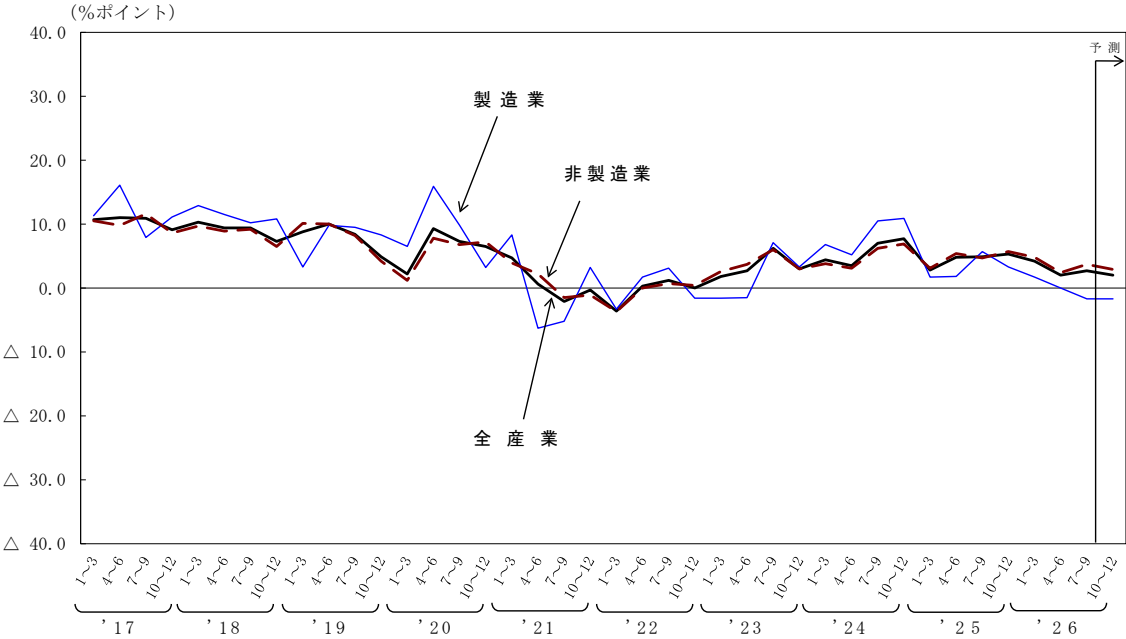
来期の借入難易D. I. は2.0 と、「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。
業種別にみると、飲食店・宿泊業で「保合い」から「困難」超となり、小売業、サービス業で「容易」超から「保合い」となり、製造業で「困難」超幅が横這いとなるものの、運輸業で「容易」超幅がやや拡大、建設業、卸売業で「容易」超幅が横這い、情報通信業で引き続き「保合い」となる見通しとなっている。

図表6-1. 借入難易D.I.

参考:借入難易D. I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合) (単位 : %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	4.8	4.9	5.3	4.2	2.0	(1.6)	2.7
	① 容易 (%)	6.7	7.2	7.6	6.2	5.2	(5.2)	5.0
	不変 (%)	91.4	90.5	90.1	91.8	91.5	(91.1)	92.7
	② 困難 (%)	1.9	2.3	2.3	2.0	3.3	(3.6)	2.3
製造業		1.8	5.7	3.3	1.7	0.0	(△1.8)	△ 1.7
建設業		9.7	4.8	3.4	3.4	0.0	(1.7)	8.3
卸売業		5.0	0.0	2.8	2.4	7.0	(7.0)	2.6
小売業		7.7	5.1	9.8	7.5	2.8	(△2.8)	2.6
運輸業		△ 3.2	0.0	7.1	7.1	7.4	(7.4)	3.7
情報通信業		△ 5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0
サービス業		13.2	5.4	2.8	0.0	0.0	(0.0)	3.2
飲食店・宿泊業		0.0	21.7	16.7	16.7	0.0	(4.0)	0.0

図表6-2. 借入難易D. I. の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「減少」超幅が大幅に拡大、来期は「減少」超幅が縮小する見通し —

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の販売数量D. I. は△17.5 と、「減少」超幅が大幅に拡大した。

業種別にみると、小売業で「増加」超から「減少」超へ転じ、製造業、卸売業で「減少」超幅が拡大した。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

来期の販売数量D. I. は△8.0 と、「減少」超幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「減少」超幅が大幅に縮小、製造業、小売業で「減少」超幅が縮小する見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	△ 13.3	△ 13.6	△ 2.9	△ 0.7	△ 4.5	(△7.5)	△ 17.5
	① 増加(%)	25.9	25.0	28.5	32.1	29.1	(21.6)	22.6
	不変(%)	34.8	36.4	40.1	35.0	37.3	(49.3)	37.2
	② 減少(%)	39.3	38.6	31.4	32.9	33.6	(29.1)	40.1
	製造業	△ 21.4	△ 28.3	△ 1.7	△ 12.1	△ 9.1	(△16.4)	△ 18.3
	卸売業	△ 25.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 9.5	△ 18.6	(△20.9)	△ 25.6
	小売業	10.3	12.8	14.6	25.0	19.4	(22.2)	△ 7.9

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超幅がやや拡大、来期は「上昇」超幅が縮小する見通し —

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の販売価格D. I. は67.2 と、「上昇」超幅がやや拡大した。

業種別にみると、小売業で「上昇」超幅が縮小したものの、製造業で「上昇」超幅が大幅に拡大、卸売業で「上昇」超幅がやや拡大した。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

来期の販売価格D. I. は60.6 と、「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「上昇」超幅が横這いとなるものの、小売業で「上昇」超幅が大幅に縮小し、製造業で「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	59.3	50.0	48.9	53.6	63.4	(64.9)	67.2
	① 上昇(%)	63.0	59.1	53.3	57.1	64.9	(67.2)	70.1
	不変(%)	33.3	31.8	42.3	39.3	33.6	(30.6)	27.0
	② 下降(%)	3.7	9.1	4.4	3.6	1.5	(2.2)	2.9
	製造業	51.8	35.8	36.7	44.8	43.6	(54.5)	56.7
	卸売業	67.5	62.5	69.4	64.3	74.4	(65.1)	76.9
	小売業	61.5	56.4	48.8	55.0	80.6	(80.6)	73.7

参考 3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅がほぼ横這い—

〔2026 年 9 月期末〕

在庫水準D. I. は△2.9 と、前期末と比べて「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。
業種別にみると、小売業で「過剰」超幅が大幅に縮小したものの、製造業で「不足」超幅が大幅に縮小、卸売業で「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I.（当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2025年			2026年		
		6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末
全産業	D. I. (①—②)	△ 9.6	△ 3.8	△ 5.1	△ 7.9	△ 2.2	△ 2.9
	① 不足(%)	1.5	5.3	3.6	3.6	9.0	8.0
	適正(%)	87.4	85.6	87.6	85.0	79.9	81.0
	② 過剰(%)	11.1	9.1	8.8	11.4	11.2	10.9
	製 造 業	△ 5.4	△ 1.9	3.3	△ 5.2	12.7	1.7
	卸 売 業	△ 7.5	0.0	△ 8.3	△ 16.7	△ 7.0	△ 5.1
	小 売 業	△ 17.9	△ 10.3	△ 14.6	△ 2.5	△ 19.4	△ 7.9

参考 4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅がほぼ横這い、来期も「不足」超幅がほぼ横這いの見通し －

(1) [2026 年 7～9 月期実績]

当期の雇用判断D. I. は 56.1 と、「不足」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、情報通信業で「不足」超幅が縮小、運輸業で「不足」超幅がやや縮小したもの、サービス業、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が拡大、製造業で「不足」超幅がやや拡大、建設業、卸売業で「不足」超幅がほぼ横這い、小売業で「不足」超幅が横這いとなった。

(2) [2026 年 10～12 月期見通し]

来期の雇用判断D. I. は 56.5 と、「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が大幅に縮小、卸売業、サービス業で「不足」超幅が縮小、製造業で「不足」超幅がやや縮小するものの、運輸業、情報通信業で「不足」超幅が大幅に拡大、建設業で「不足」超幅が拡大、小売業で「不足」超幅が横這いの見通しとなっている。

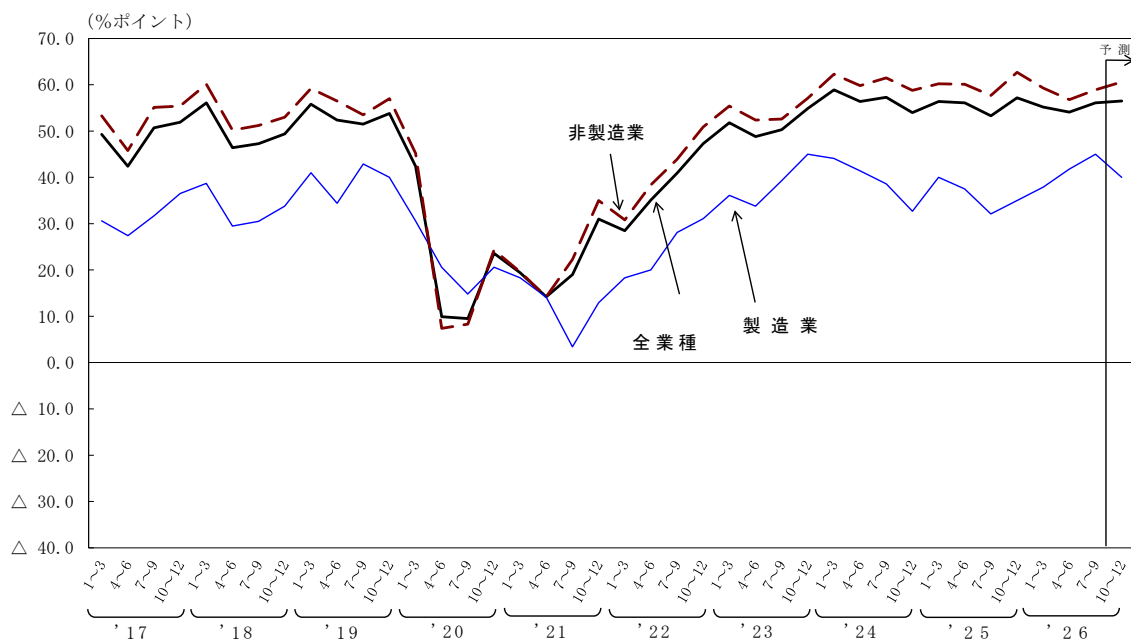
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考:雇用判断D. I. (当該期、「不足」・「過剰」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2025年			2026年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	56.1	53.3	57.2	55.2	54.1	(54.1)	56.1
	① 不足(%)	57.0	54.9	58.6	56.9	55.1	(55.4)	57.8
	適正(%)	42.0	43.5	40.1	41.5	43.9	(43.3)	40.5
	② 過剰(%)	1.0	1.6	1.3	1.6	1.0	(1.3)	1.7
	製造業	37.5	32.1	35.0	37.9	41.8	(41.8)	45.0
	建設業	72.6	66.1	74.6	71.2	74.6	(74.6)	75.0
	卸売業	57.5	52.5	52.8	52.4	44.2	(39.5)	43.6
	小売業	56.4	69.2	63.4	62.5	50.0	(50.0)	50.0
	運輸業	61.3	48.3	57.1	53.6	59.3	(55.6)	55.6
	情報通信業	47.4	45.0	33.3	42.1	33.3	(38.1)	27.8
	サービス業	50.0	48.6	72.2	52.9	55.6	(52.8)	64.5
	飲食店・宿泊業	61.5	56.5	58.3	62.5	64.0	(76.0)	73.1

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 引き続き「原材料高」の割合が最多となる —

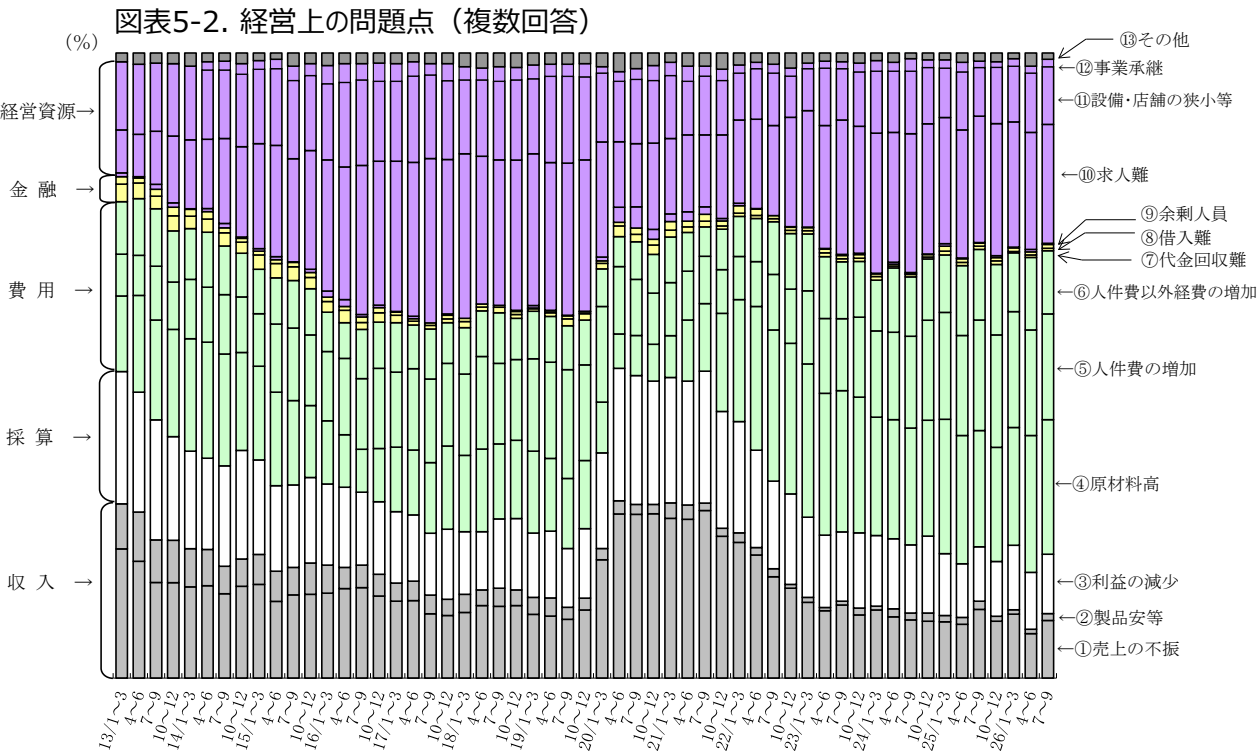
[2026 年 7～9 月期実績]

当面の経営上の問題点としては、「原材料高」(図表 5-1 の表頭④21.5%) の割合が最も高く、続いて「求人難」(同⑩19.0%)、「人件費の増加」(同⑤16.9%) の順となった。

業種別にみると、製造業、卸売業、飲食店・宿泊業では「原材料高」の割合が、建設業、小売業、運輸業では「求人難」の割合が、サービス業では「人件費の増加」の割合が、情報通信業では「売上の不振」と「利益の減少」の割合が最も高かった。

図表5-1.経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)													
区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
業種	売上の不振	製品安等	利益の減少	原材料高	人件費の増加	人件費以外経費の増加	代金回収難	借入難	余剰人員	求人難	設備・店舗の狭小等	事業承継	その他
全産業	9.2	1.1	9.5	21.5	16.9	10.1	0.4	0.6	0.2	19.0	9.2	1.2	1.0
製造業	9.9	1.2	8.2	26.3	14.0	10.5	0.6	0.6	0.6	9.9	17.5	0.6	0.0
建設業	9.0	1.3	12.9	25.8	13.5	7.1	0.0	0.6	0.0	27.1	1.9	0.0	0.6
卸売業	7.7	2.9	9.6	20.2	17.3	12.5	1.0	0.0	0.0	19.2	5.8	1.0	2.9
小売業	9.6	1.1	6.4	18.1	18.1	9.6	1.1	0.0	0.0	19.1	10.6	4.3	2.1
運輸業	11.0	0.0	5.5	21.9	19.2	9.6	0.0	1.4	0.0	23.3	6.8	1.4	0.0
情報通信業	22.2	0.0	22.2	13.3	4.4	11.1	0.0	0.0	0.0	15.6	11.1	0.0	0.0
サービス業	5.1	0.0	3.8	11.4	26.6	13.9	0.0	2.5	1.3	20.3	11.4	2.5	1.3
飲食店・宿泊業	5.1	1.3	11.5	23.1	21.8	7.7	0.0	0.0	0.0	19.2	7.7	1.3	1.3



参考資料：業種別 D.I.の推移

1. 製造業

図1-1 業況判断D.I.の推移（製造業）

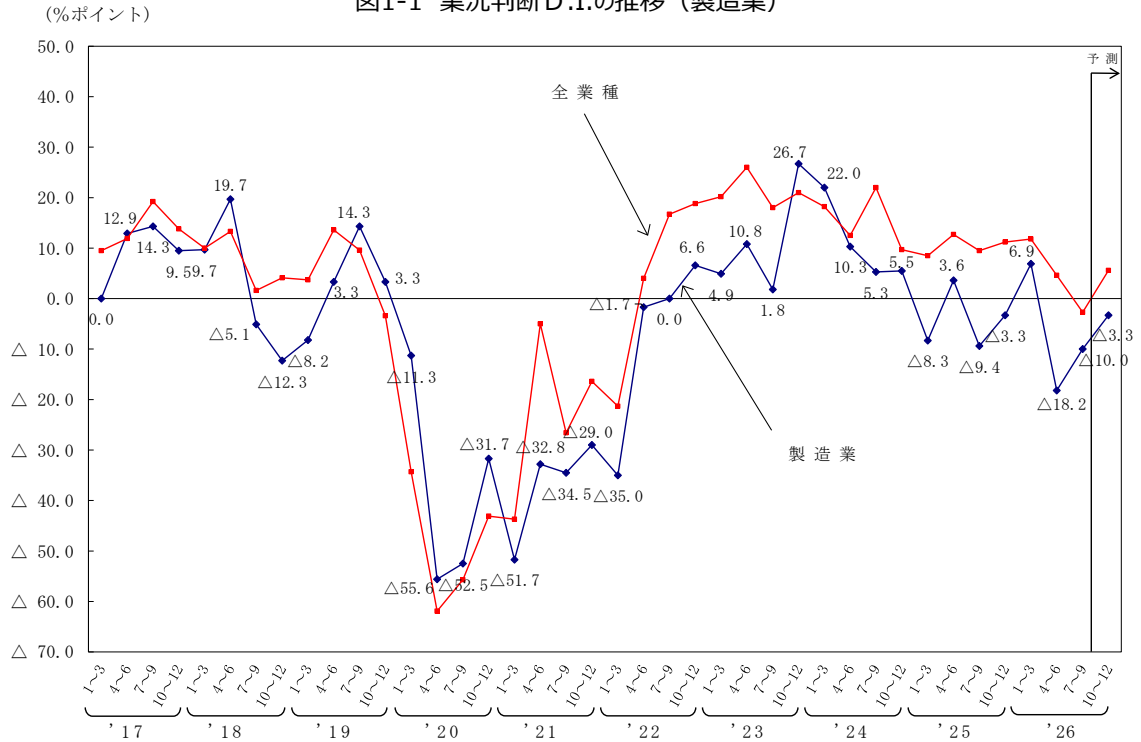
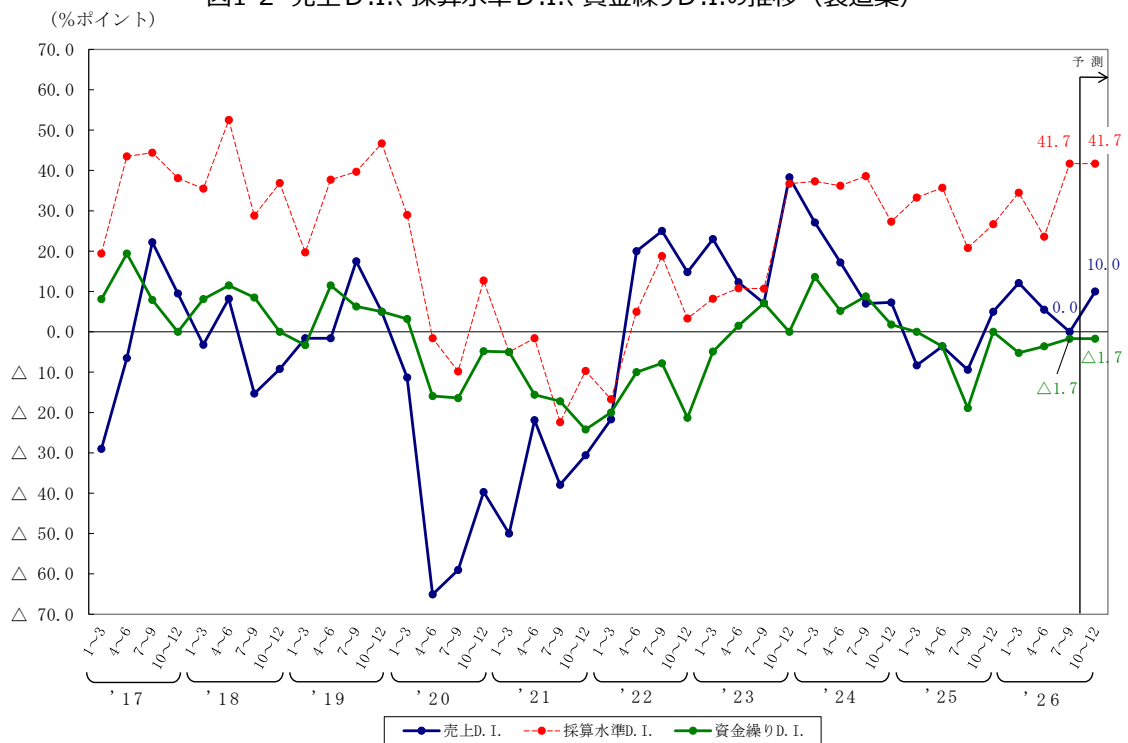


図1-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（製造業）



2. 建設業

図2-1 業況判断D.I.の推移（建設業）

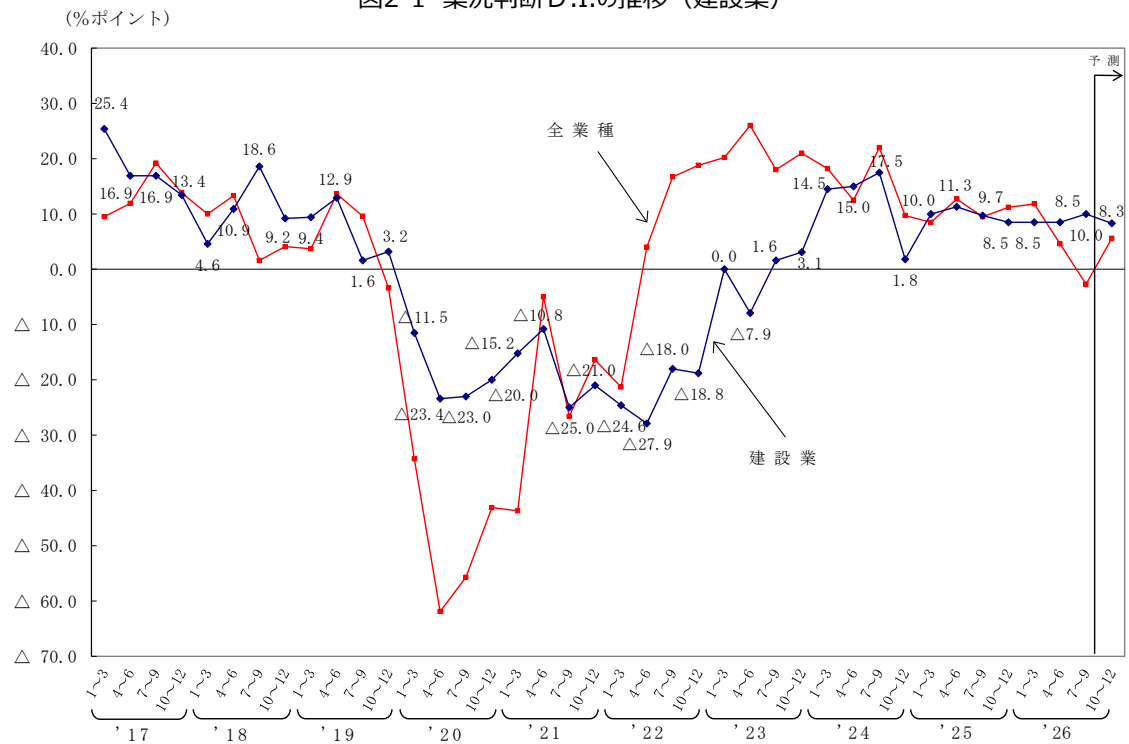
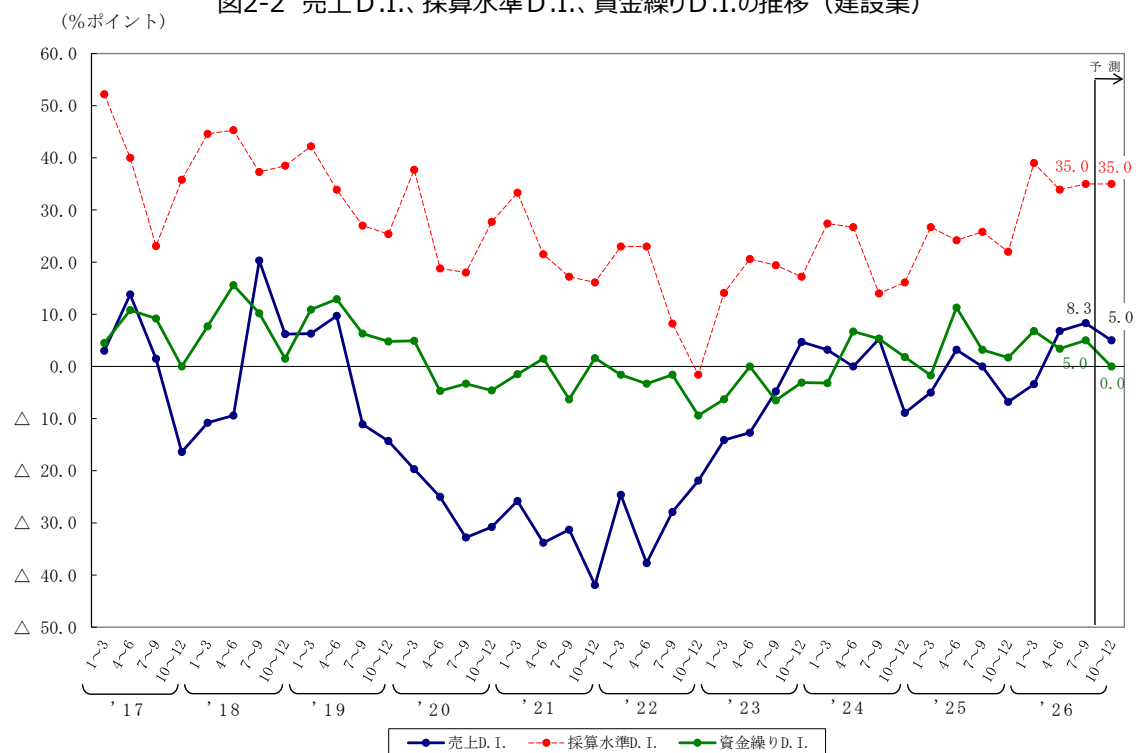


図2-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（建設業）



3. 卸売業

図3-1 業況判断D.I.の推移（卸売業）

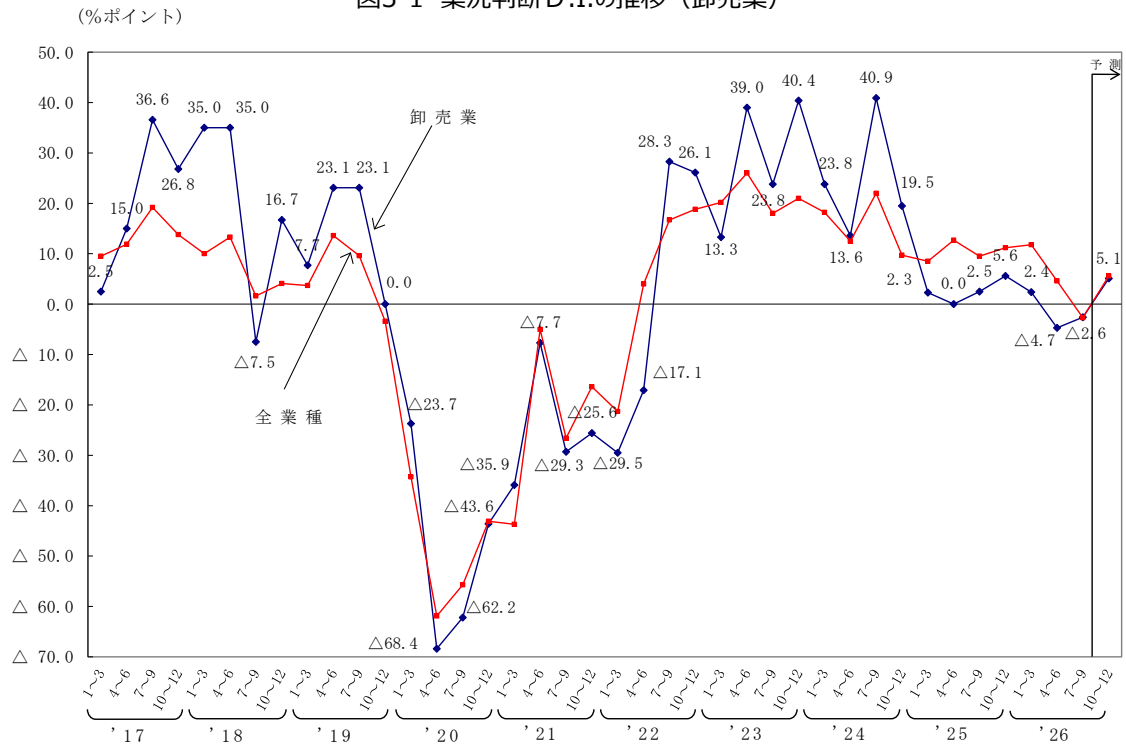
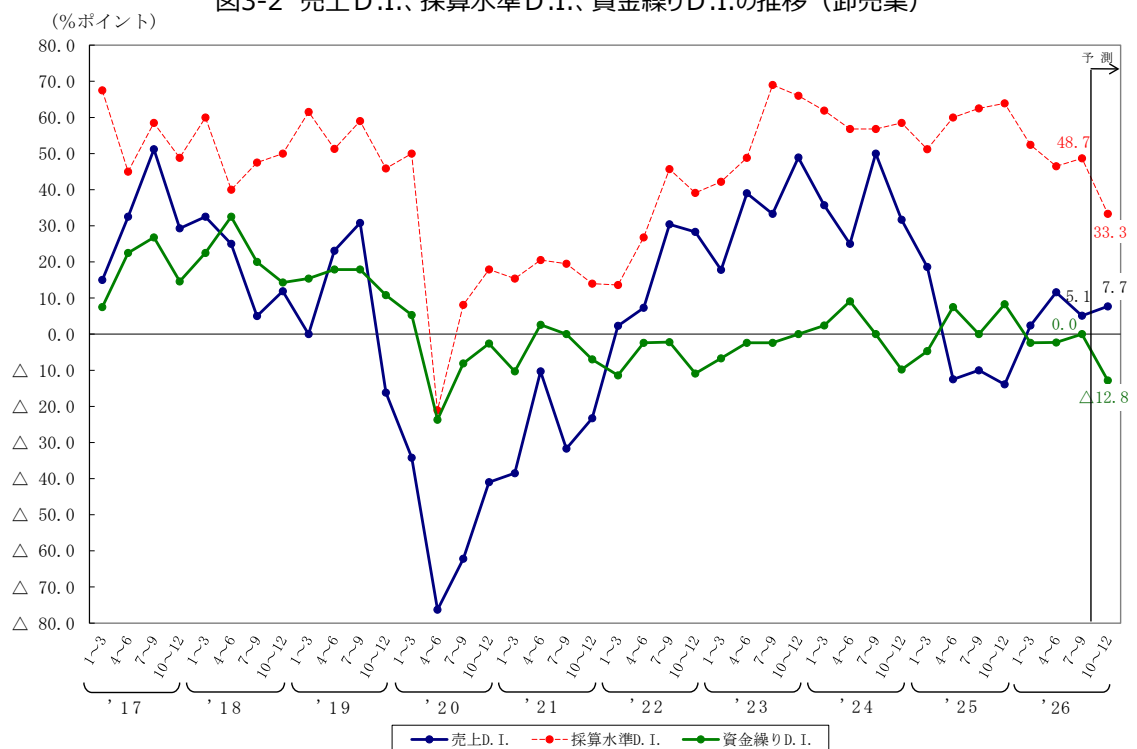


図3-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（卸売業）



4. 小売業

図4-1 業況判断D.I.の推移（小売業）

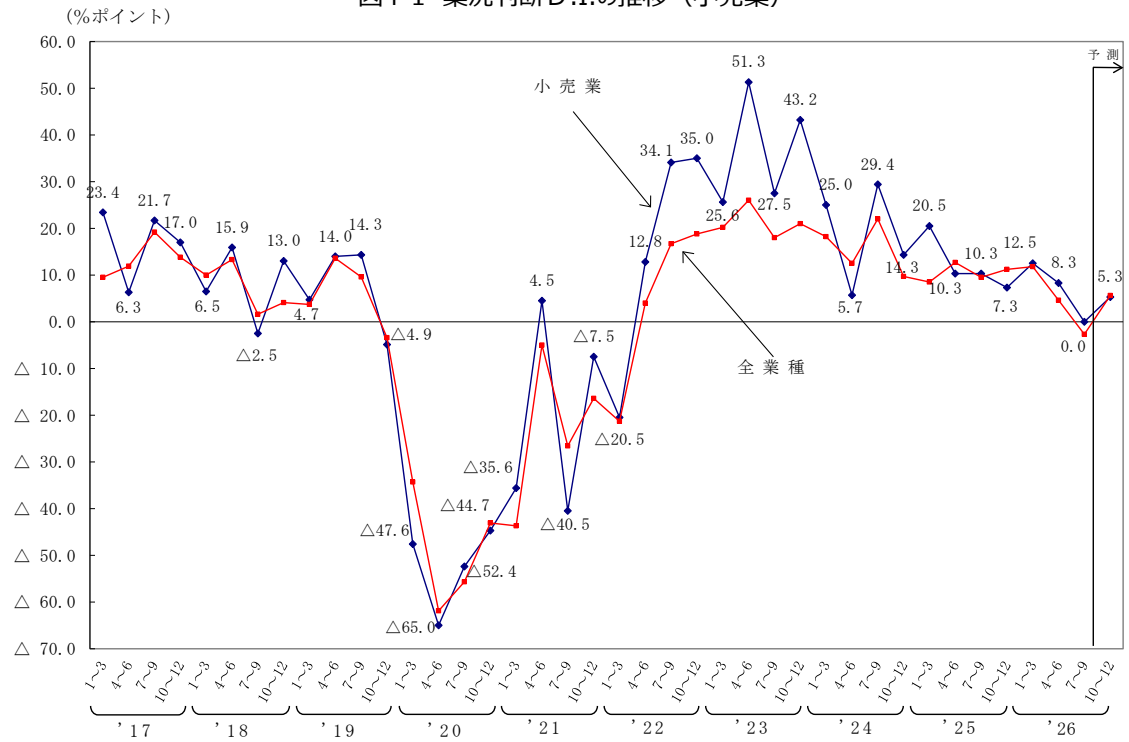
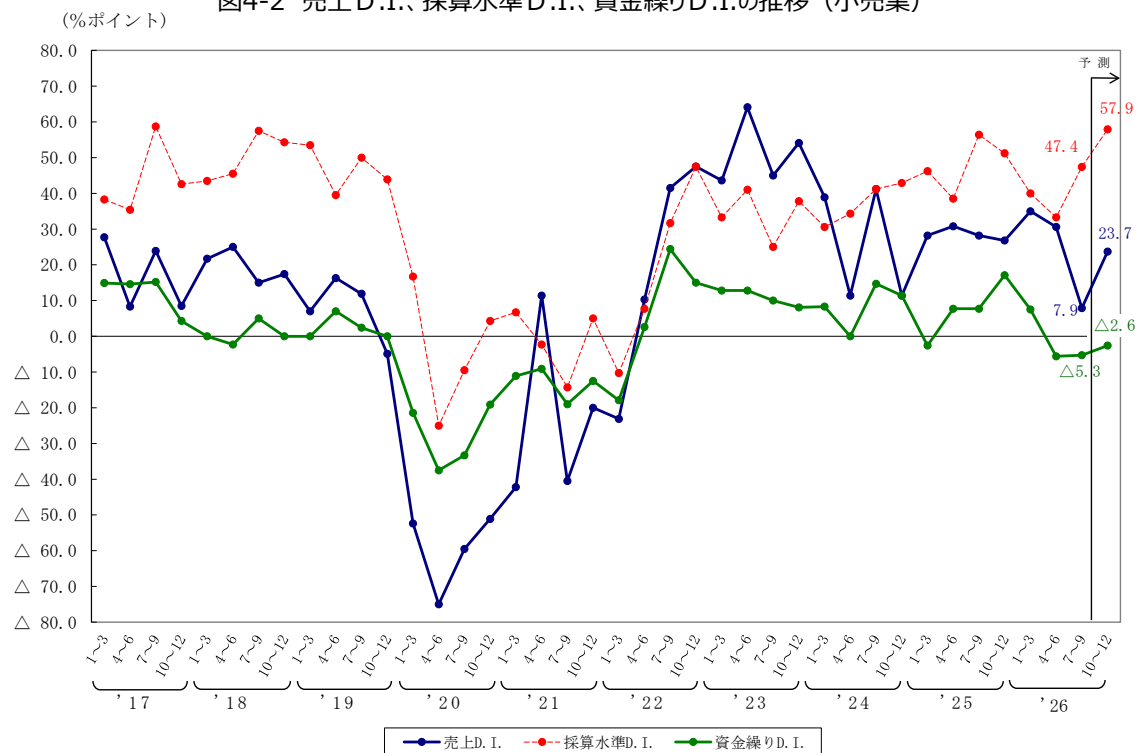


図4-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（小売業）



5. 運輸業

図5-1 業況判断D.I.の推移（運輸業）

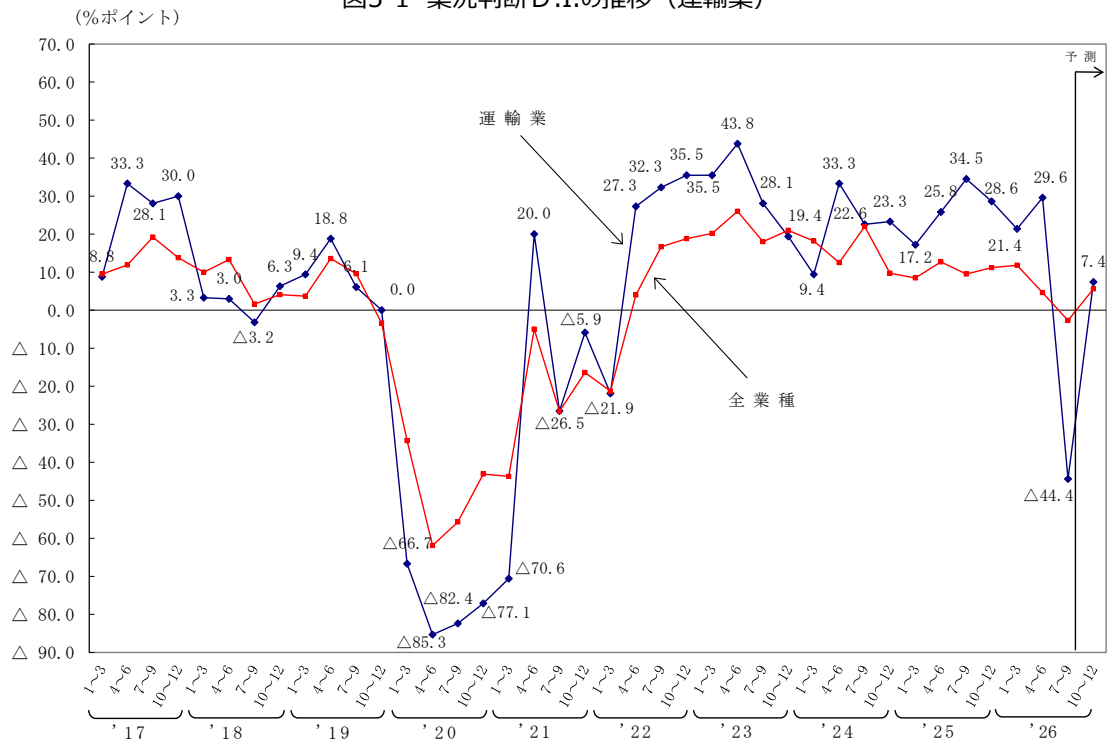
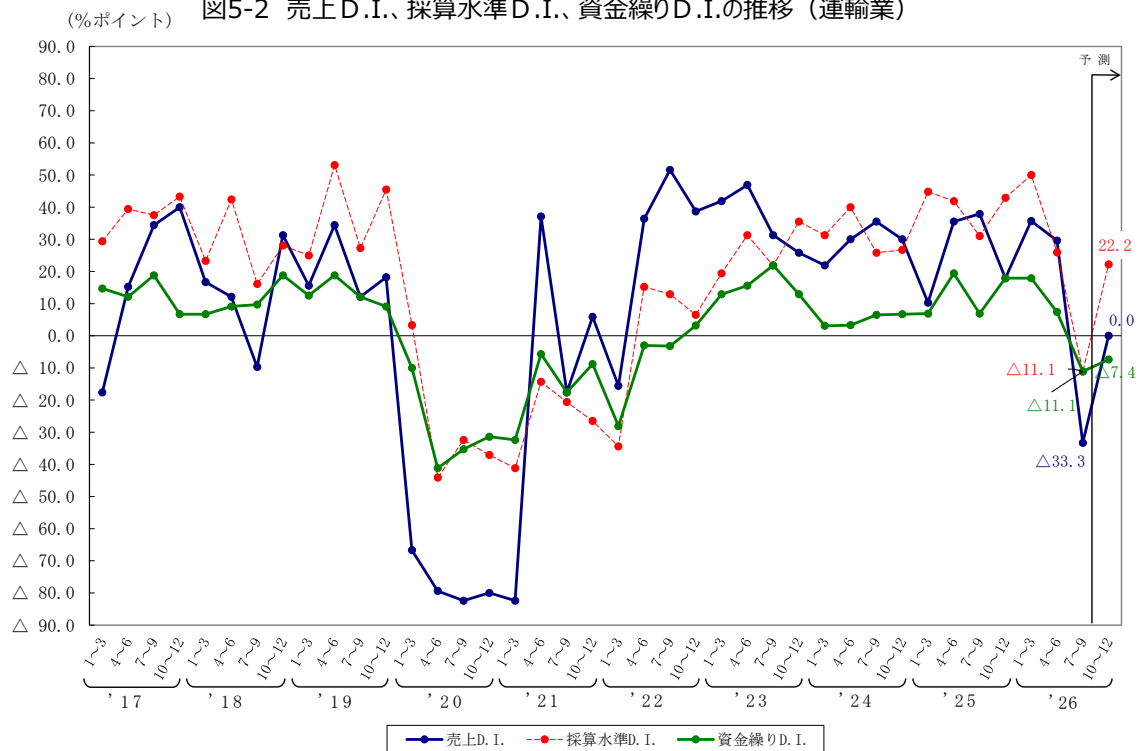


図5-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（運輸業）



6. 情報通信業

図6-1 業況判断D.I.の推移（情報通信業）

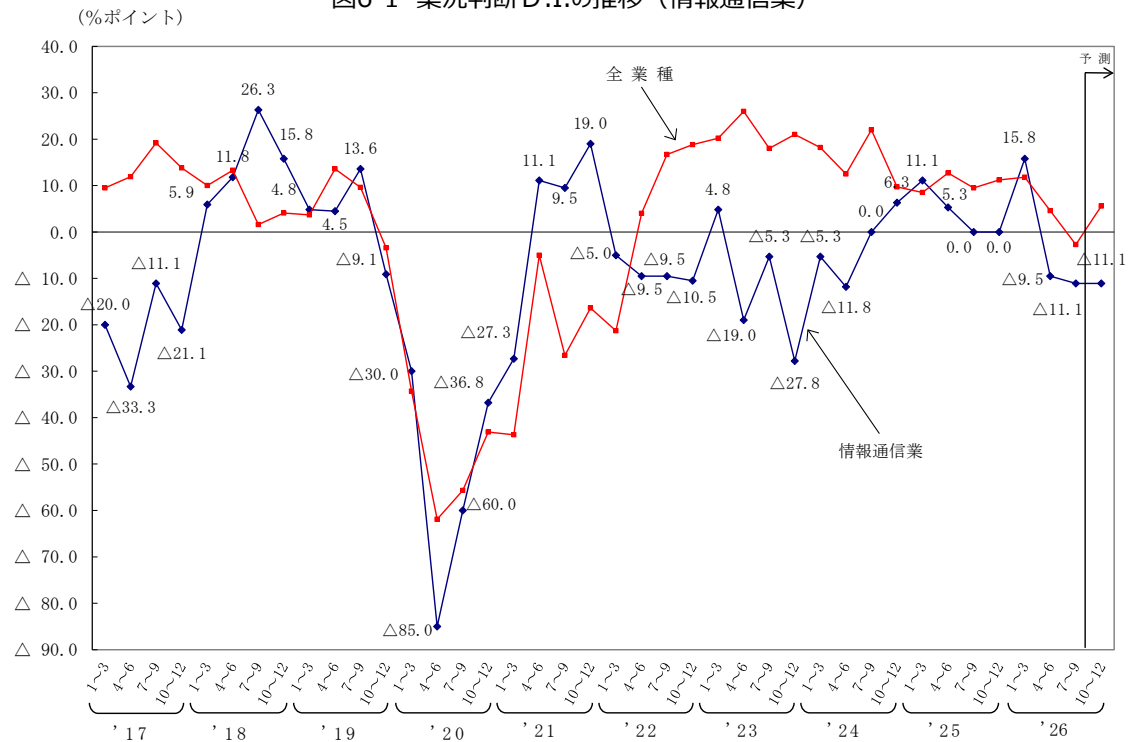
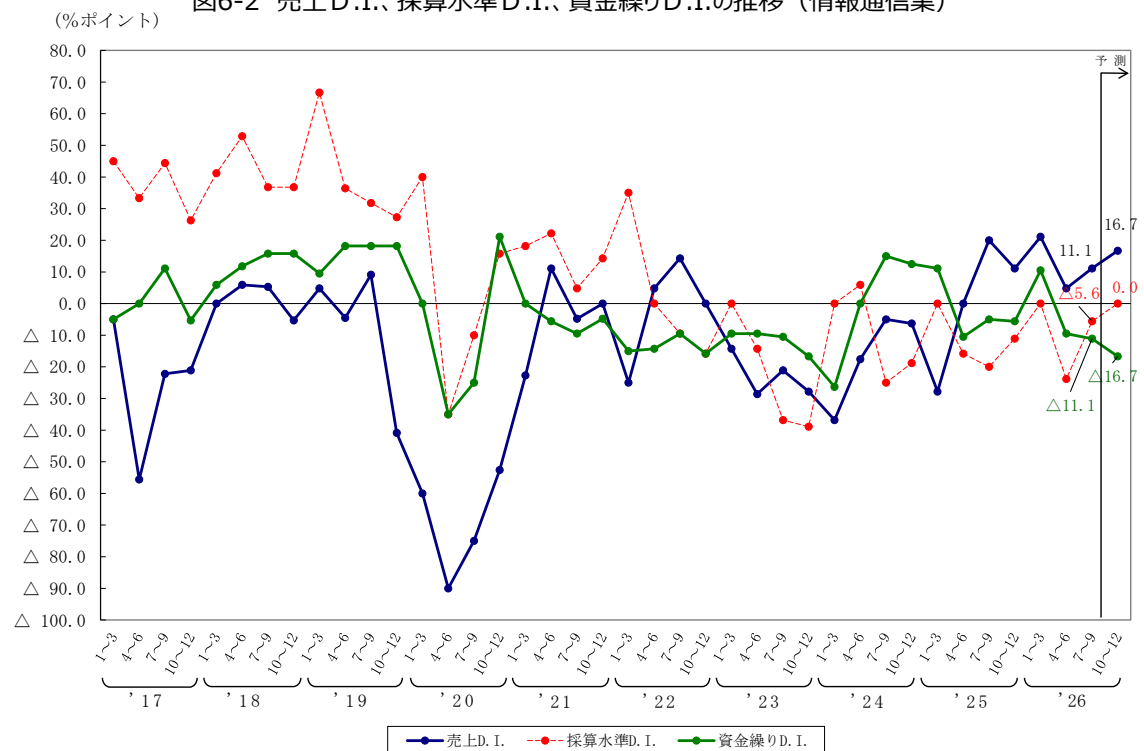


図6-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（情報通信業）



7. サービス業

図7-1 業況判断D.I.の推移（サービス業）

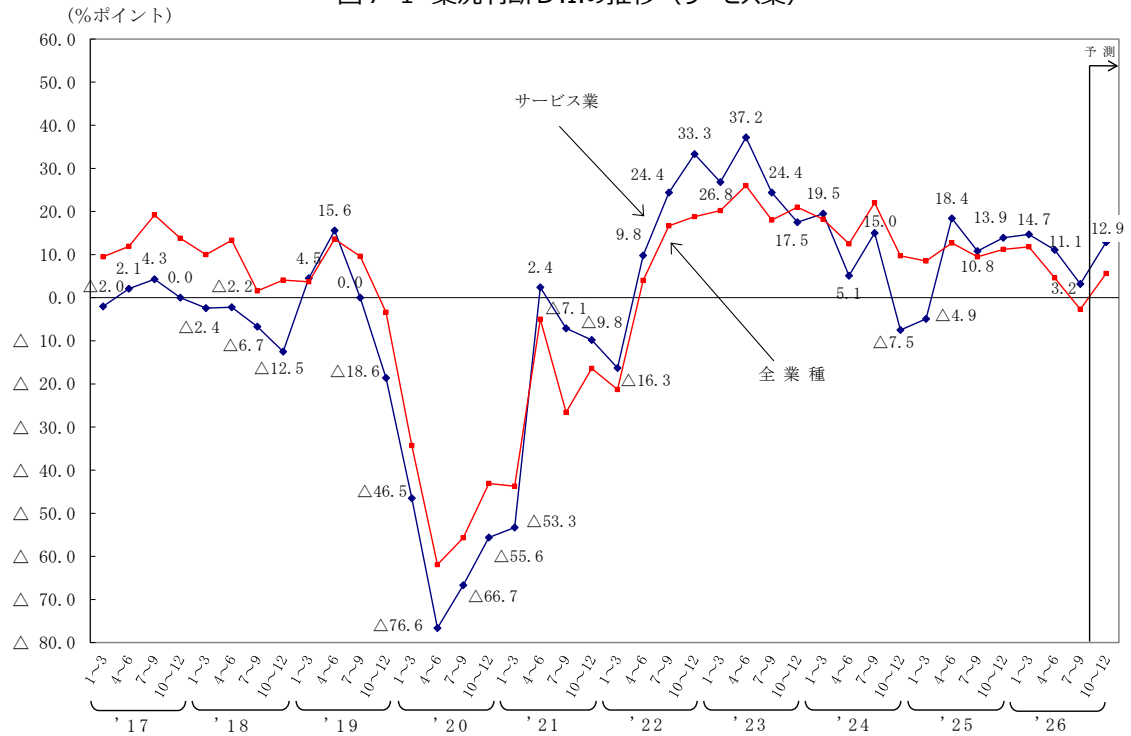
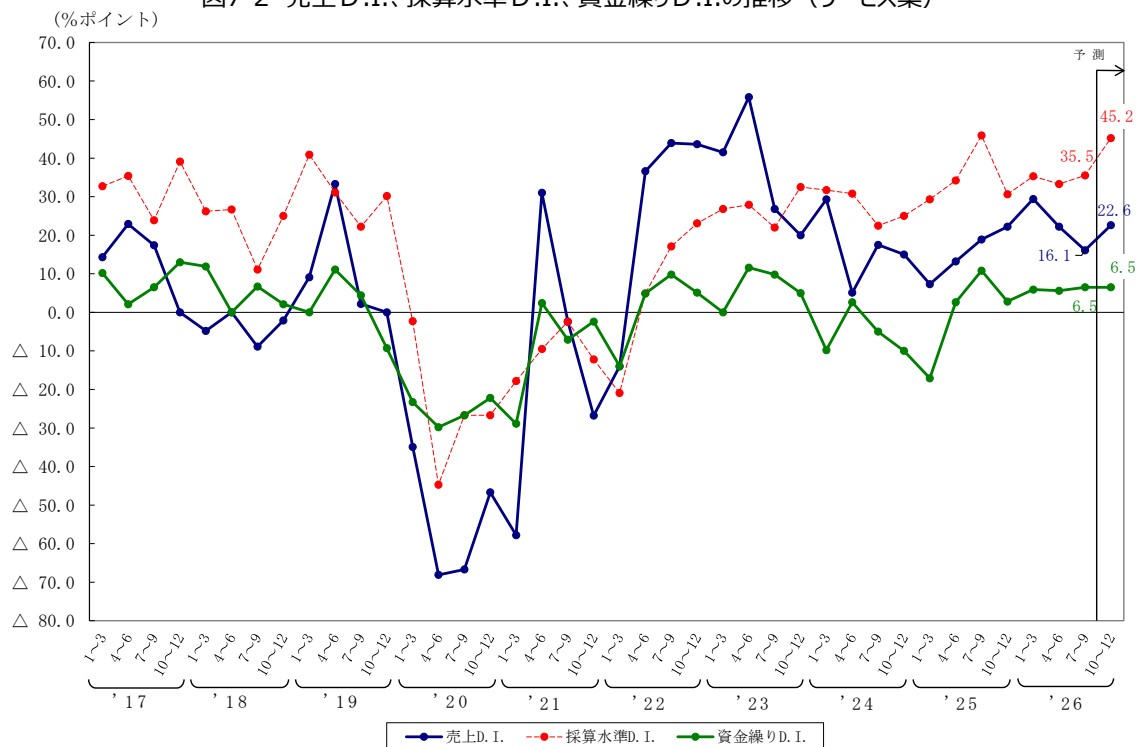


図7-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（サービス業）



8. 飲食店・宿泊業

図8-1 業況判断D.I.の推移（飲食店・宿泊業）

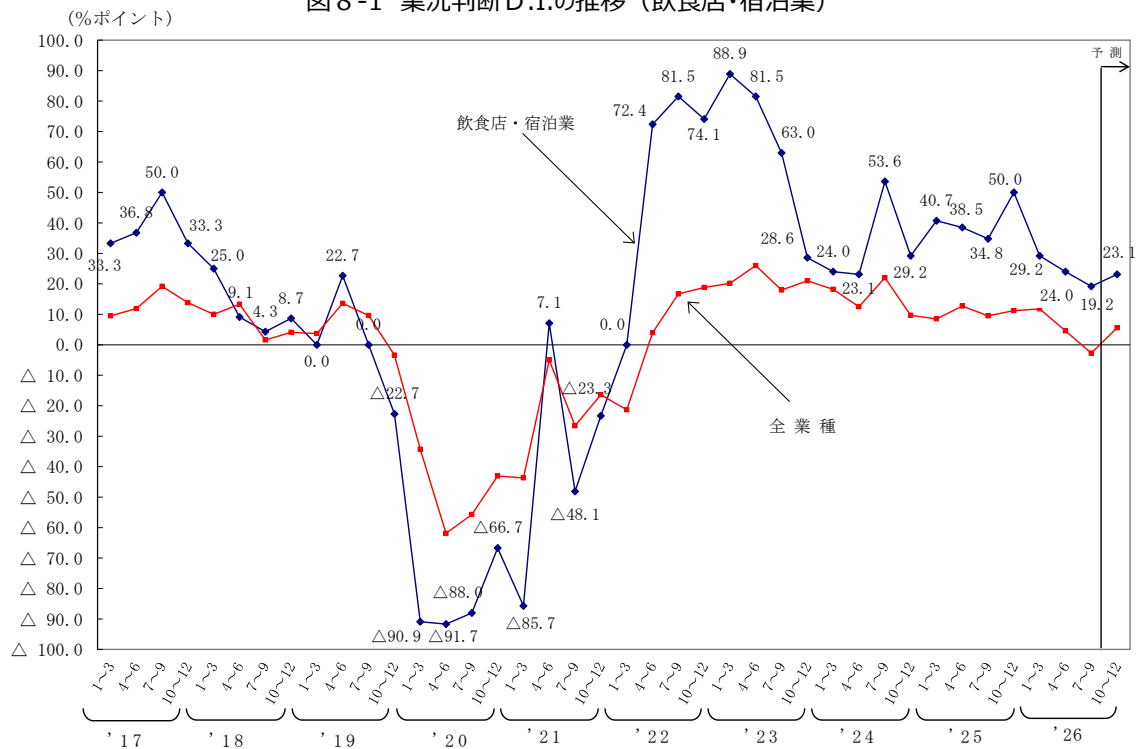


図8-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（飲食店・宿泊業）

